



ラベルプロデューサー ユーザーズマニュアル

はじめに

目次

インストール

各部の名称と画面構成

ラベル作成の流れ

基本操作

特殊形状のラベル・カードについて

注意・制限事項

(C)1999-2005 Media Navigation,Inc. All rights reserved.

はじめに

「ラベルプロデューサー」をお使いいただきましてありがとうございます。

「ラベルプロデューサー」は、簡単でしかもパワフルな編集機能を備えたラベル・カード作成ソフトです。ラベルシートのイメージのまま、画面上でレイアウト作業ができますので面倒な位置合わせも不要です。マウスクリックだけでラベル作成を進めることができるウィザードも用意されていますので誰にでも簡単に美しいラベルを作成することができます。

必要なシステム

日本語Windows(Windows XP Professional/XP Home Edition/2000Professional/Me/98SE/98)の画面サイズ800×600ドット以上、High Color(32,000色以上)モード、メモリ32MB以上(64MB以上推奨)、ハードディスク空容量:最小20MB、最大(フルインストール時)260MB、CD-ROMドライブが必要

ヘルプについて

メニューバーの<ヘルプ(H)>-<ラベルプロデューサーの使い方(C)>で、便利なヘルプメニューをひらくことができます。

また、こまったところでF1キーを押下した場合には、その場面に対応したヘルプのページが開きます。ヘルプをこのマニュアルと併せてご参照くださるよう、お願いします。

目次

インストール

1.1 インストール手順	4
1.2 アンインストール	5
1.3 環境設定	5

各部の名称と画面構成

2.1 ラベル編集画面	6
2.2 シート全体画面	6

ラベル作成の流れ

3.1 ラベルプロデューサーの起動	7
3.2 ラベル作成の流れ	7
3.3 「ウィザード」でラベルを作成する	8
3.4 「新規作成」でラベルを作成する	13
3.5 ラベルシートの印刷	14

基本操作

4.1 ラベル編集画面での操作	16
4.2 オブジェクト	17
4.2.1 文字・図形オブジェクトの色変更	17
4.2.2 オリジナル画像の追加	17
4.2.3 バーコードオブジェクト	17
4.2.4 ナンバリング	18
4.2.5 パノラマ写真	18
4.3 シート全体画面での操作	19
4.4 差込み印刷	20

特殊形状のラベル・カードについて

1. パーソナルクリエイションジャンル内ハロキティラベル5品番	22
2. AVラベルジャンル内MDラベル	22
3. OAラベルジャンル内LS-120スーパーディスクラベル	22
4. 両面印刷ジャンル内両面DVD/CDツールケースインデックスカード	22
5. 両面印刷ジャンル内すっきりエッジ名刺カード	23
6. CDラベル・カードジャンル内DVD/CDインデックスカード	23
7. 名刺ジャンル、両面印刷ジャンル内1面名刺	23

注意・制限事項

文字の表示と印刷	24
Windowsのフォントサイズ	24
デジタルカメラなどのTWIN機器について	24
印刷について	24
収録素材について	24
本製品ご使用条件	25

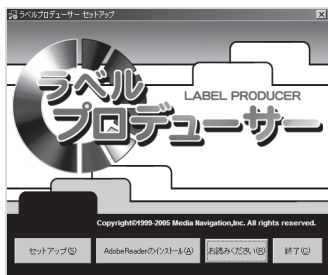
インストール

「ラベルプロデューサー」をお使いいただくためには、CD-ROMに収録されているプログラムやデータなどをパソコンに接続されているハードディスクに複写する必要があります。「ラベルプロデューサー」には、インストール作業を簡単におこなえる専用のセットアッププログラムが付属しています。

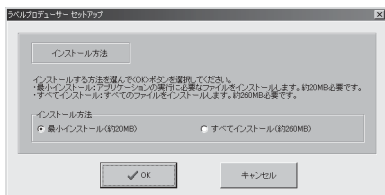
1.1 インストール手順

- Windows が起動しているパソコンのCDドライブに「ラベルプロデューサー」のCD-ROMをセットします。数秒するとセットアッププログラムが自動的に起動します。<お読みください(R)>をクリックするとReadme.txtファイルを見ることができます。セットアップを開始するには<セットアップ(S)>ボタンをクリックします。
- 「ラベルプロデューサー」ファイルの複写先のフォルダ名が表示されていますので、フォルダを変更する必要がなければ、このまま<OK>ボタンをクリックします。

「AdobeReaderのインストール」ボタンを押すと、AdobeReaderのセットアップが起動します。このソフトをインストールすることで、PDF形式のファイルを開覧することができるようになります。



- セットアップ方法を選択する画面が表示されます。

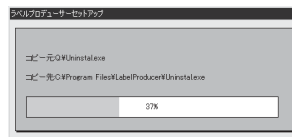


「最小インストール」では約20MB、「すべてインストール」では約260MBの容量が必要になります。ただし、お使いのWindowsやハードディスクの環境によって必要な容量が変化しますので、実際にはさらに多くの容量が必要になることがあります。

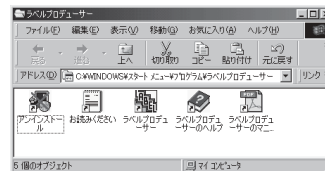
- インストールが始まると複写中のファイル名や進行状況が表示されます。



- 正常にセットアップが終了するとメッセージが表示されますので<OK>ボタンをクリックします。



- これで必要な作業は終わりました。「ラベルプロデューサー」のアイコンをダブルクリックしてプログラムを起動できることを確認してください。



「最小インストール」と「すべてインストール」の違いについて

「最小インストール」を選択した場合は、必要なハードディスクの容量は少なくてすみませんが、「ラベルプロデューサー」のデータ(イラスト・背景柄・デザイン等)を使用する際にCD-ROMにアクセスしますので、デザインや背景柄などの読み込みに時間がかかる場合があります。なお、「最小インストール」を選択した場合でも、「ラベルプロデューサー」のデータを使用しない場合はCD-ROMをセットして起動する必要はありません。

反対に「すべてインストール」を選んだときは、たくさんのハードディスク容量を使用しますが、処理スピードが速くなり快適に「ラベルプロデューサー」をお使いいただくことができます。

1.2 アンインストール

アンインストールは、インストールの反対の作業で「ラベルプロデューサー」をハードディスクから削除したいときにおこなう作業です。<スタート>の<プログラム(P)>から<ラベルプロデューサー>の<アンインストール>を選択します。確認のメッセージが表示されますので、本当に削除してよろしければ<はい>ボタンをクリックします。

ご注意

アンインストール時に削除されるフォルダをエクスプローラなどで表示させたまま、アンインストールをおこなった場合、存在しないフォルダを参照していることになるため「～にアクセスできません」というエラーメッセージが表示されたり、存在しないフォルダが表示されたままになることがあります。このような場合は、エクスプローラの<表示(V)>から<最新の情報に更新(R)>を選択して、表示されている内容と実際のフォルダ内容を一致させてください。

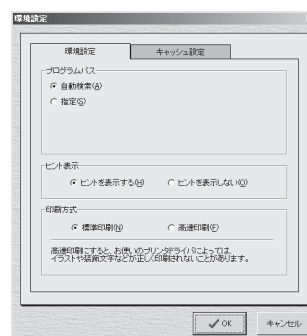
1.3 環境設定

<ファイル(F)>-<環境設定(E)>で「ラベルプロデューサー」の環境を設定するダイアログが開きます。

<プログラムパス>

セットアップしたときに<標準インストール>が選択されていると「ラベルプロデューサー」に必要なファイルがCDから複写されていませんので、実行時にそのファイルがどこにあるか指定します。

<自動検索(A)>を選択するとすべてのドライブを自動的に検索します。通常は、<自動検索(A)>に設定してください。



<ヒント表示>

マウスポインターをボタンなどの上で静止したときに表示されるヒントの有効・無効を切り替えます。

<印刷方法>

印刷時のプリンタへのデータ送信方法を切り替えます。<高速印刷(F)>を選択した場合、送信するデータ量が少なくなるため短時間で印刷できるようになりますが、お使いのプリンタによっては、変形文字やイラストなどが正しく印刷できないことがありますのでご注意ください。<標準印刷(N)>を選択した場合、背景柄などの印刷に時間がかかることがあります。

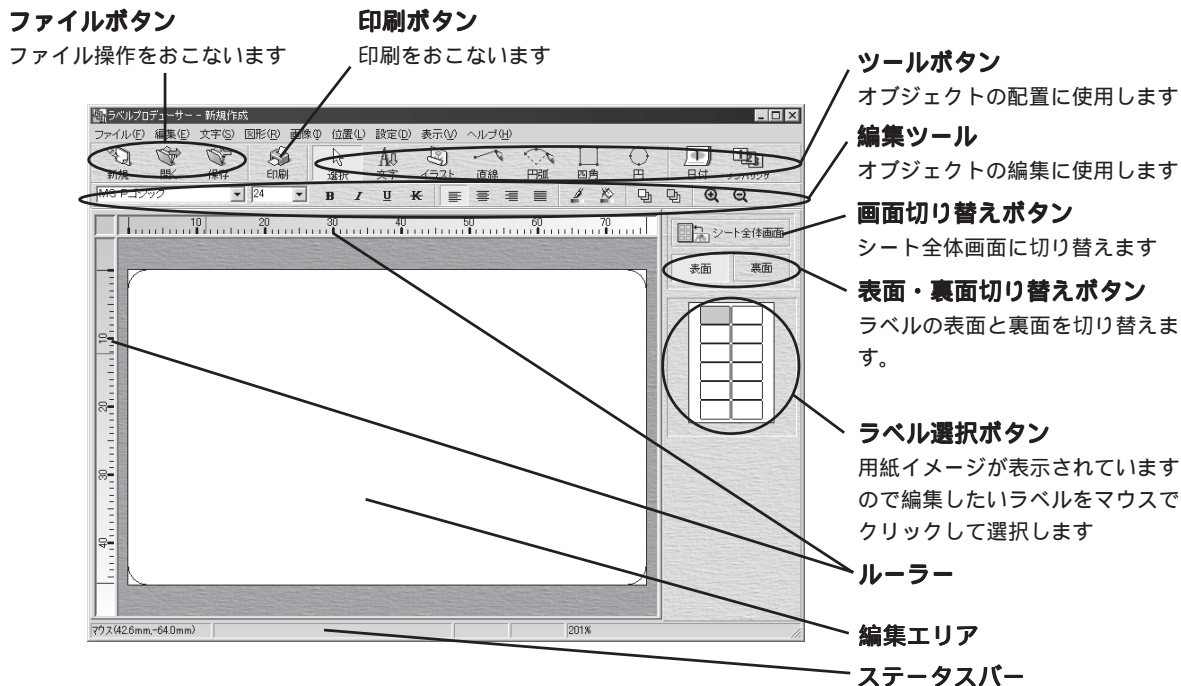
<キャッシュ設定>

一度読み込んだデータファイルを、ハードディスクに保存しておき、次回から高速に表示する機能です。

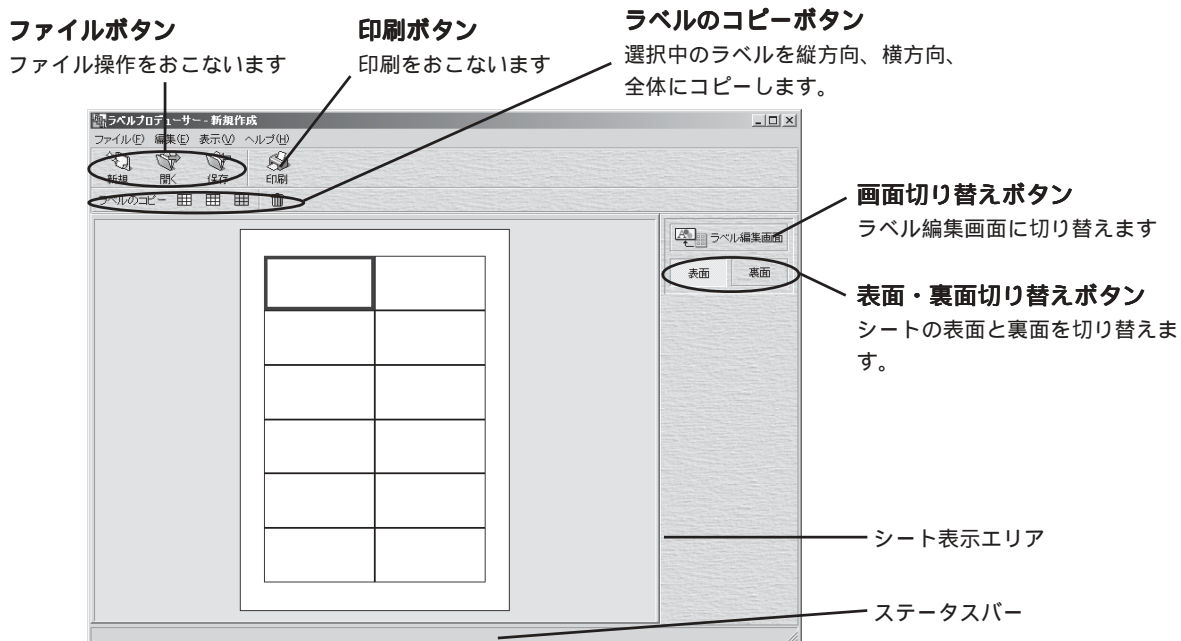
各部の名称と画面構成

「ラベルプロデューサー」は、デザイン編集するために1面のラベルだけを表示する「ラベル編集画面」とラベルシート全体を表示する「シート全体画面」の2つの画面から構成されています。

2.1 ラベル編集画面



2.2 シート全体画面

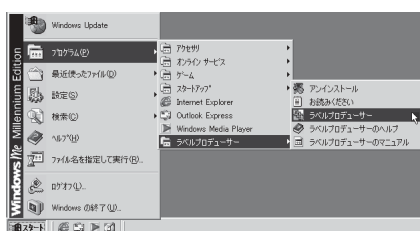


ラベル作成の流れ

基本的な操作方法などを練習するために、実際にラベルを作成してみましょう。

3.1 ラベルプロデューサーの起動

「ラベルプロデューサー」のアイコンをダブルクリックするか、タスクバーの<スタート>メニューの<プログラム(P)>から<ラベルプロデューサー>の<ラベルプロデューサー>を選択してプログラムを起動してください。

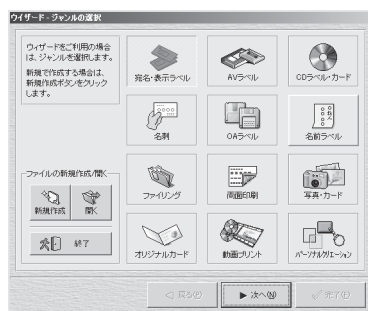


「ラベルプロデューサー」が起動するとラベル作成の方法を選択するダイアログが開きます。

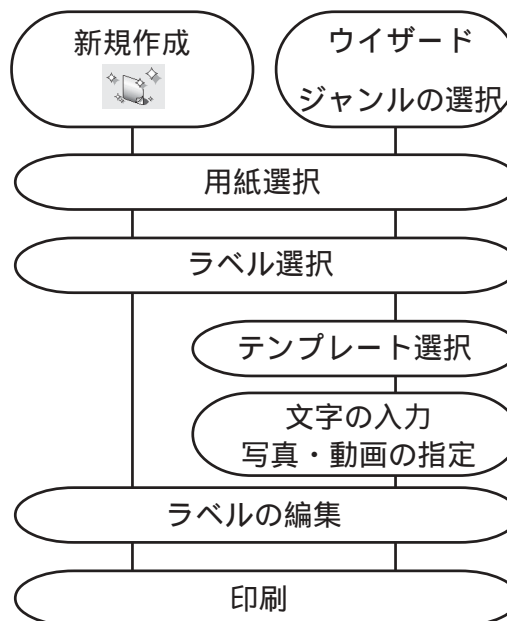


3.2 ラベル作成の流れ

「ラベルプロデューサー」では、**ウィザード**を使用して簡単にラベルを作成したり、白紙から**新規作成**して、文字や図形などを順番にラベルの上に置いていくことでデザインを作成していくことができます。



新しいラベルデータを作成する場合は、<新規作成>を、ウィザードにしたがってラベルを作成したい場合は、ジャンル選択のボタンをクリックします。<開く>をクリックすると、保存してあるラベルデータを開いて編集することができます。<終了>をクリックすると、ラベルの編集を行わずに「ラベルプロデューサー」を終了します。

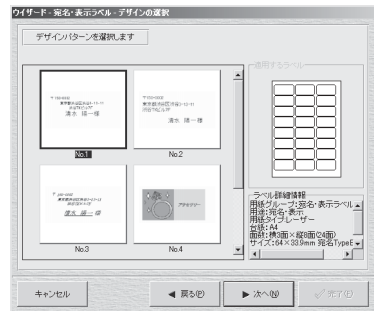
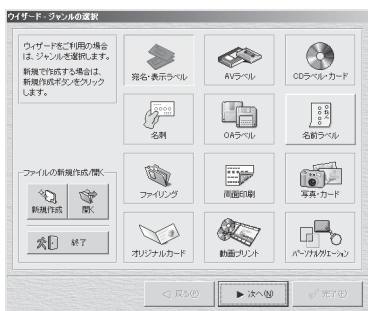


3.3 「ウイザード」でラベルを作成する

起動画面(ウイザード・ジャンルの選択画面)で、ジャンル選択ボタンをクリックすると、ウイザードの説明にしたがってマウスをクリックするだけで簡単にラベルデータを作成することができます。

ウイザード開始～ジャンルの選択

1. 起動画面でジャンルの選択ボタンを押します。
<次へ(N)> ボタンをクリックします。



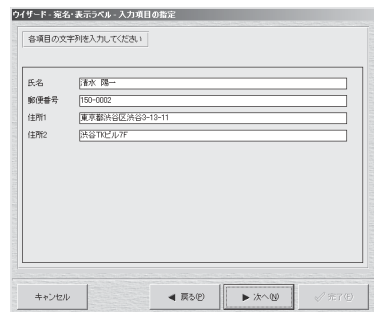
2. 用紙を選択する

右側に1. で選択したラベルの用途に合った用紙一覧が表示されますので、使用する用紙を選択します。
デザイン方法(D)で、<全ラベル同じ> を選択すると、ひとつのラベルを作成するだけで、すべてのラベルに、編集したデザインを印刷することができます。



4. 入力項目を設定する

3. で選択したデザインによってはデザインに組み込まれている文字列をお好みの文字列に変更することができます。
文字列を変更したい場合は変更したい文字列をクリックして文字列を編集します。
よろしければ<次へ(N)> をクリックします。



よろしければ<次へ(N)>を押します。

3. デザインパターンを選択する

右側の<適用するラベル>から、印刷したいラベルを選択すると、左側のラベル一覧にラベルの形状に合わせたデザインが表示されます。
左側のデザイン一覧から、使用したいデザインを選択して下さい。
ラベルとデザインがよろしければ<次へ(N)> をクリックします。

動画プリント用紙の場合

「動画プリント」ジャンルでは、動画（AVI形式）から画像を切り出し、貼り付けることができます。

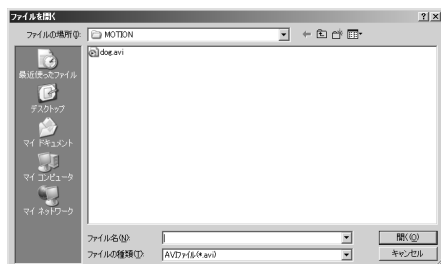
まずは、「ウィザード-動画プリント-動画の指定」ダイアログ右上の「動画の切出し」ボタンを押します。



「動画の切出し」ダイアログで、「動画の変更」ボタンを押します。



「ファイルを開く」画面が表示されますので、取り込みたいAVIファイルを選択します。



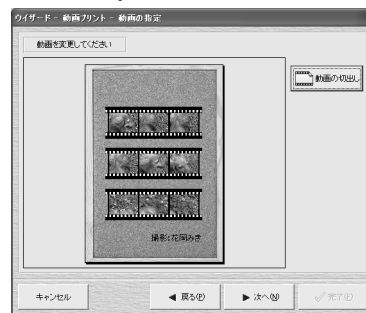
動画ファイルの指定が完了すると、「フレーム」が表示されます。画面右側の「動画シーン」に表示されているフレームを選択すると、「プレビュー」に表示されます。この状態で、「フレーム」のスクロールバーを左右に動かすと、フレーム割り（AVIファイルのフレーム数）を変更できます。



「動画シーン」のNo.1で選択しているフレームと、「動画シーン」の最後で選択しているフレームの間で、等間隔にフレームを抜き出し、「動画シーン」に表示します。

30フレームのAVIファイルを6面付けのラベルに配置する場合、30フレームを6分割してフレームを抜き出し、表示します。AVIファイルのフレーム数が、ラベルの面付け数に満たない場合、例えば、3フレームのAVIファイルを6面付けのラベルに配置する場合、No.1と2、No.3と4、No.5と6は、各々同じフレームのシーンを表示します。

<OK>ボタンを押すと、「動画の指定」ダイアログに戻ります。



よろしければ、「次へ」ボタンを押します。

動画を取り込むときには、次の点に注意してください。

1. 対応している動画ファイルは、AVIファイル(拡張子 .avi)です。
2. 動画プリントでの取り込みを推奨するAVIの形式は、次のとおりです。
 - ・無圧縮
 - ・Cinepak
 - ・Intel IndeoR Video 3.1
 - ・Intel IndeoR Video 3.2
3. 動画が表示されない場合は、Windows Media PlayerとDirectXを最新にすることをお奨めします。
4. Windows Media Playerで再生できないAVIファイルはラベルプロデューサーで使用できない場合があります。
5. 動画のフレームサイズ(pixel数)は、360x240pixel程度を推奨します。フレームサイズが大きい場合、メモリ不足等で動作が不安定になることがあります。

ラベル作成の流れ

写真・フォトシール用紙の場合

「写真・カード」ジャンルで写真用紙を選ぶか、「パーソナルクリエイション」ジャンルでフォトシール用紙を選択すると、ウィザード上で写真を変更することができます。ダイアログ右上の「写真の変更」ボタンを押すと「イメージファイルの設定」ダイアログが表示されますので、再選択ボタンから画像ファイルを指定しましょう。

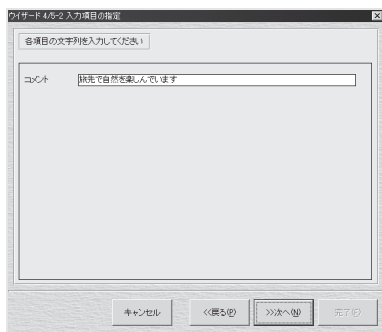


画像ファイルを指定すると、「イメージファイルの設定」ダイアログが表示されます。ここでは透過色の設定や画像の切り抜き・フレーム選択等が実行できます。



画像ファイルを指定し「次へ(N)」をクリックすると、入力項目の設定画面に移動します。

選択したデザインに文字オブジェクトが配置されている場合、文字列をお好みの文字に変更することができます。



よろしければ「次へ(N)」をクリックします。

パノラマ用紙の場合

「写真カード」ジャンルのパノラマ用紙では、2枚の写真を連続した1枚の写真として、貼り付けることができます。

写真・カードジャンルを選択し、パノラマ用の用紙とデザインパターンを選択します。



「ウィザード - 写真・カード - パノラマ写真の指定」が表示されます。

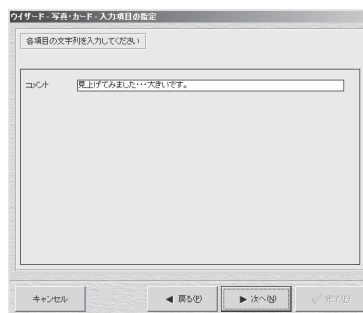
デザインを選択し、「次へ」を押します。



「写真の変更」ボタンを押すと、「パノラマ写真のレイアウト設定」ダイアログが表示されます(詳しくは、P.18の「4.2.5 パノラマ写真」を参考にしてください)。画像ファイルの設定が完了したら、「OK」ボタンを押します。



最後に、入力項目の設定が完了したら、「次へ(N)」をクリックします。

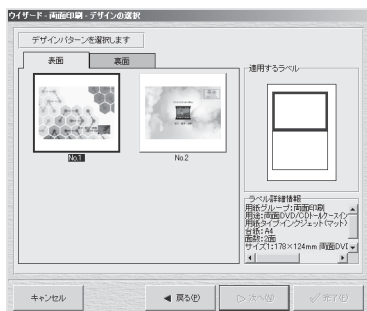


両面印刷用紙の場合

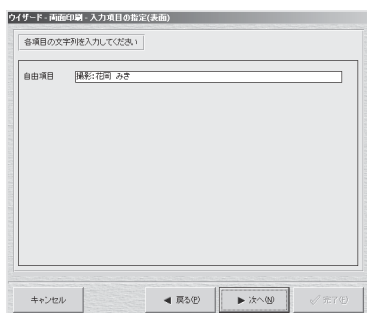
「両面印刷」ジャンルでは、両面印刷用紙のラベル表・裏面にデザインを施すことができます。

両面印刷ジャンルを選択します。

表面または裏面タブを選択し、デザインを選びます。



表または裏の入力項目を指定します。表面の場合は表面の、裏面の場合は裏面の入力項目を変更することができます。



よろしければ<次へ(N)>をクリックします。

6. 作成データを確認する

用紙イメージが表示されますので、よろしければ<完了>をクリックしてウイザードを終了し、ラベル編集に進みます。



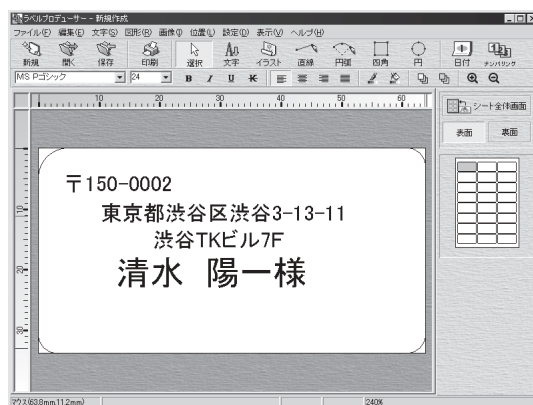
他のラベルにもウイザードを実行したい場合には、<別のラベル(N)>をクリックしてください。3. のデザインパターンの選択からウイザードを繰り返すことができます。

<適用するラベル>で、次に編集したいラベルをクリックして選択してからデザインを指定してください。


なお、2. のデザイン方法(D)で、<全ラベル同じ>を選択している場合には別のラベルに対してウイザードを実行することはできません。

7. ラベルを編集する


ラベルを編集します。



8. ラベルを印刷する

ラベルのデザインがよろしければ、 ボタンをクリックして印刷を開始します。

9. ラベルを保存する

作成したラベルを保存したい場合は、 をクリックしてハードディスクにラベルデータを保存することができます。

ラベルの表面と裏面を作成する

「名刺」用紙や「パーソナルクリエイション」ジャンルの「プラシート」用紙などは表裏両面をデザインすることが多いと思われます。用紙の表裏両面を作成するには、以下の手順で行います。

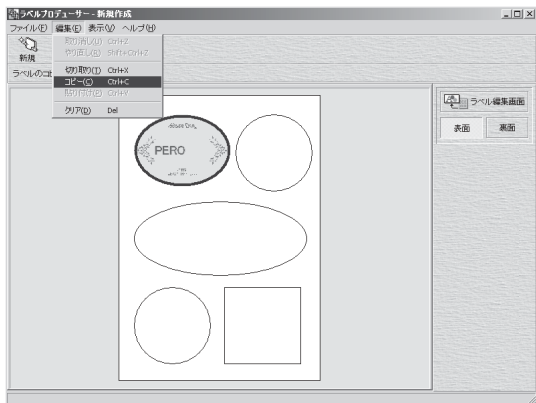
1. 表面のラベルを作成する

『3.3「ウィザード」でラベルを作成する』の1.～7.の手順でラベルの表面を作成します。



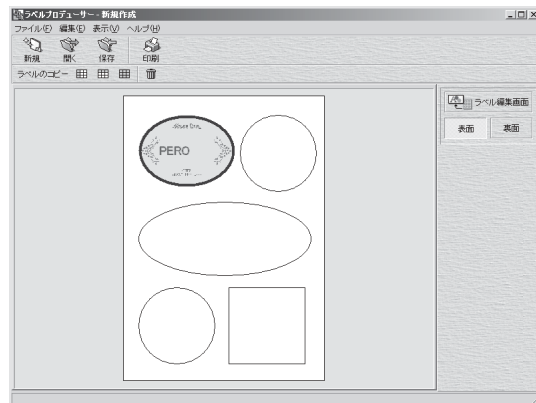
2. 表面のラベルをコピーする

<シート全体画面> ボタンを押します。画面上で好みのラベルをクリックし、<編集(E)>-<コピー(C)>を選択します。



3. 表面を裏面のラベルに貼り付ける

<裏面> ボタンを押すと、裏面のシート全体が表示されます。ここで<編集(E)>-<貼り付け(P)>を選択し、2.でコピーした表面のデザインを裏面に貼り付けます。



4. 印刷・保存する

これでプラシート用紙のラベルの表裏両面をデザインすることができました。デザイン内容がよろしければ、印刷ボタンを押して印刷してみましょう。<表面>-<裏面> ボタンで切り替えながら、シートの表裏それぞれを印刷します。

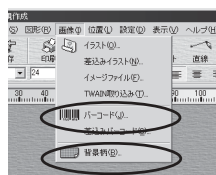
また、ファイルを保存するときは保存ボタンをクリックします。保存したファイルには表裏両面のデータが含まれます。

もう一度ウィザードを実行するには



ウィザードを最初からもう一度実行するには<ファイル(F)>-<新規作成ウィザード(W)>を実行します。ジャンル選択からウィザードが開始されます。

オブジェクトボタンに無いオブジェクト



「背景柄」と「バーコード」の2つのオブジェクトはオブジェクトボタンで配置・設定できません。

背景柄を変更するには<画像(I)>-<背景柄(B)>を選択します。

バーコードを配置するには<画像(I)>-<バーコード(J)>を選択します。

オブジェクトボタン



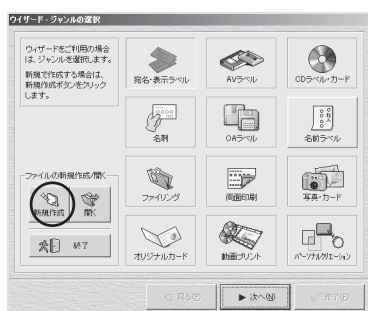
3.4 「新規作成」でラベルを作成する



起動画面(ウイザードのジャンル選択画面)で、<新規作成>ボタンをクリックすると、白紙から自由にラベルデータを作成することができます。

1. 新規作成を開始する

起動画面で<新規作成>ボタンをクリックします。



2. 用紙を選択する

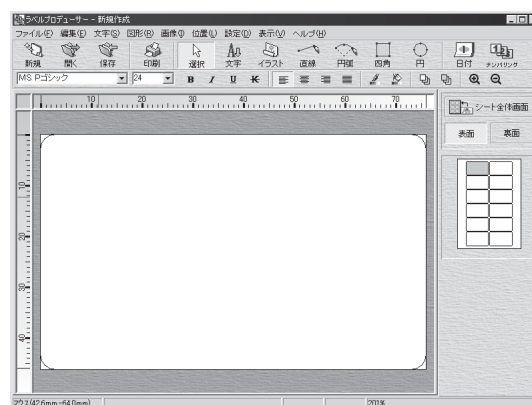


用紙選択ダイアログが開きます。
 右側の<用紙グループ(G)>から作りたいラベルの用途(ジャンル)をマウスで選択します。
 <用紙名と用途(N)>に選択したラベルの用途に合った用紙一覧が表示されますので、使用する用紙を選択します。
 用紙が選択されると、<用紙イメージ>に用紙のイメージ画像が表示されますので、お手持ちの用紙と見比べて確認してください。
 デザイン方法(Z)で、<全ラベル同じ>を選

択すると、ひとつのラベルを作成するだけで、すべてのラベルに、編集したデザインを印刷することができます。
 よろしければ<OK>をクリックします。

3. ラベルを編集する

ラベルを編集します。



4. ラベルを印刷する

ラベルのデザインがよろしければ、印刷ボタンをクリックして印刷を開始します。

5. ラベルを保存する

作成したラベルを保存したい場合は、保存ボタンをクリックしてハードディスクにラベルデータを保存することができます。


もう一度、新規作成を実行するには新規作成を最初からもう一度実行するにはツールバー上のをクリックします。用紙選択から新しいラベルデータの作成が開始されます。

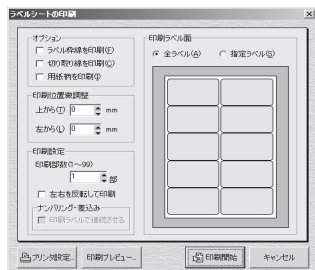
用紙を用紙名から検索するには用紙の選択画面で、<用紙グループ(G)>のを選択すると、用紙名の検索ボックスが表示されます。ここに、検索したい用紙名を入力して検索ボタンをクリックすると、簡単に用紙を検索することができます。

3.5 ラベルシートの印刷

まず、<ファイル(F)>メニューの<プリンタ設定(R)>で用紙サイズや解像度などを設定します。
「ラベルプロデューサー」の初期状態では、A4サイズ用の紙が選択されています。印刷する用紙に合わせて用紙サイズを設定してください。

印刷ダイアログを開く

ツールバーのをクリックするか、<ファイル(F)>メニューから<印刷(P)>を選択します。

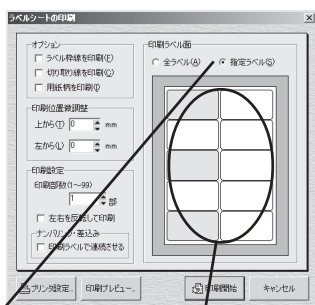


印刷を実行する

印刷ダイアログで<印刷開始>ボタンをクリックすると、印刷を開始します。

印刷するラベルを選択する

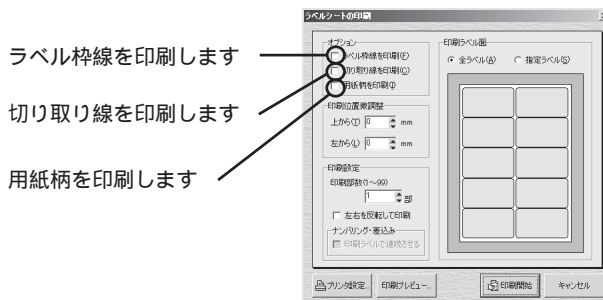
「ラベルプロデューサー」では、ラベルシートに配置されているすべてのラベルを印刷するだけでなく、指定したラベルだけを印刷することもできます。



<指定ラベル(S)>をチェックします
印刷したいラベルをマウスで選択します

ラベル枠線・切り取り線・用紙柄の印刷

また、ラベルの枠線や切り取り線・用紙柄（ラベル・カード上に表示されているグレー部分）も印刷することができますので、テスト印刷する際に枠線や切り取り線を印刷して、実際の印刷位置を簡単に確認することができます。

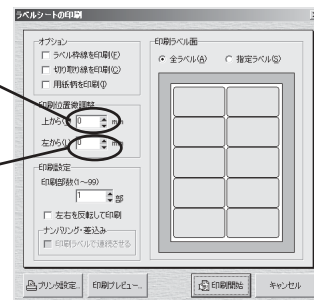


ラベル枠線を印刷します
切り取り線を印刷します
用紙柄を印刷します

印刷位置がずれる場合

印刷ダイアログメニューの<印刷位置微調整>を指定して正しい位置に合わせることができます。
少し右側に印刷したいときは、<左から(L)>の項目にずらしたい大きさをミリ単位で指定します。キーボードから直接数字を入力すれば、1/10ミリ単位で指定することができます。

上からの印字位置を数値入力で設定できます
左からの印字位置を数値入力で設定できます



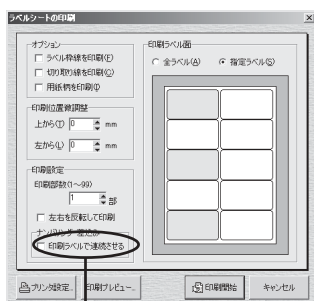
左側にずらすときには、同じ項目にマイナス(-)の値で指定します。
上下にずらしたいときは、<上から(T)>の項目で指定します。
ラベルシートの正確な位置に印刷するために、何度か練習しておきましょう。

印刷ラベル面で連続させる

<印刷ラベル面>に<指定ラベル(S)>を指定している場合に<ナンバリング・差込みの設定>の<印刷ラベルで連続させる>オプションを使用できます。

<印刷ラベルで連続させる>オプションを使用すると、差込みオブジェクト(4.4差込印刷参照)やナンバリングオブジェクト(4.2.4ナンバリング参照)が印刷に選択されたラベル内で連続になります。

なお、このオプションを使用すると、印刷結果はシート全体画面のものとは異なったものになりますのでご注意ください。



<印刷ラベルで連続させる>をチェックします

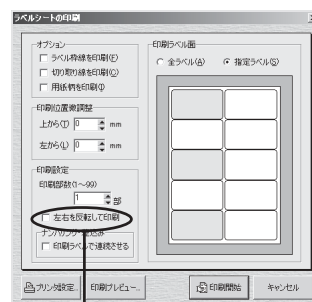
左右反転印刷

ダイアログ左下<左右を反転して印刷>をチェックして印刷を実行すると、画面上のイメージの左右を反転して印刷できます。

「パーソナルクリエイション」ジャンルの「デコシート」および「アイロンプリント」の用紙に印刷する場合、ここをチェックすると良いでしょう。

「デコシート」は透明なラベルシートで、車のガラスや窓ガラス等に貼って使用します。このため、「デコシート」に印刷するときは左右を反転して印刷する必要があります。

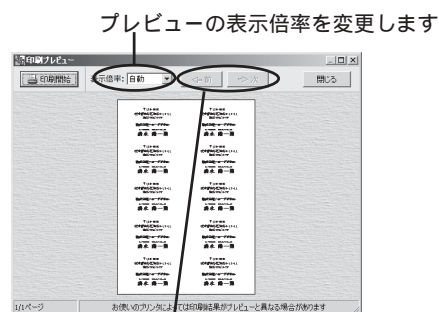
なお、<左右を反転して印刷>をチェックしている場合、印刷設定は「標準印刷」のみをサポートします(1.3環境設定参照)。<ファイル(F)>-<環境設定(E)>で印刷方式を高速印刷に設定していても、標準印刷に切り替えて印刷実行されます。



<左右を反転して印刷>をチェックします

印刷プレビュー

印刷結果を事前に確認することができます。印刷ダイアログで、<印刷プレビュー>ボタンをクリックします。「印刷プレビュー」ダイアログが表示されます。



印刷部数が複数の場合は、プレビューを切り替えることができます

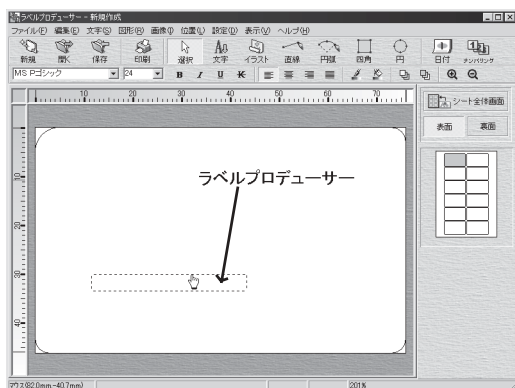
基本操作

4.1 ラベル編集画面での操作

ラベル編集画面は、文字やイラストなどのオブジェクトを追加したり、編集したりする画面です。「ラベルプロデューサー」では、ラベル上に作成した文字やイラスト、直線や四角などの図形、バーコードや日付文字などを総称してオブジェクトと呼びます。それぞれのオブジェクトは、共通の操作で移動したり変形したりすることができます。

オブジェクトの移動・コピー

ラベル上に配置された文字やイラストなどのオブジェクトの上にマウスカursorを移動するとマウスカursorの形が指の形に変わります。このときにマウスの左ボタンを押しながらマウスを移動させるとオブジェクトを移動できます。

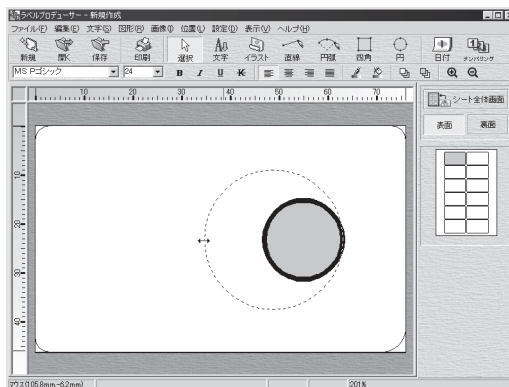


オブジェクトの変形

オブジェクトをマウスでクリックすると黒や緑の点で囲まれ選択された状態になります。この時オブジェクトを囲んでいる黒い点の上にマウスカursorを移動するとマウスカursorの形が矢印の形になり、オブジェクトを変形できるようになります。マウスカursorが変わった所でマウスの左ボタンを押し、そのままマウスを移動させるとオブジェクトの形を変えることができます。ただし、文字と日付文字では、オブジェクトの枠だけが変形します。ワンポイントイラストやイメージオブジェクトを変形するときは、自動的に縦横の比率を保ったままの変形(オブジェクトの拡大・縮小)になります。また、Shiftキーを押しながら操作すると自由な形に変形することもできます。

直線オブジェクトをShiftキーを押しながら変形すると垂直線や水平線を引くことができます。

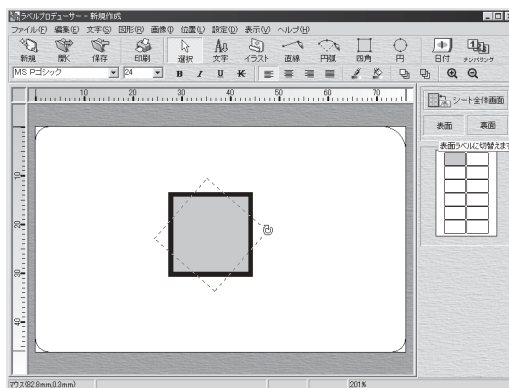
四角オブジェクトや円オブジェクト、バーコードをShiftキーを押しながら変形すると現在の縦横比を保ったまま変形します。



オブジェクトの回転

オブジェクトを選択状態にすると右上と左下には緑色の点が表示されます。この緑色の点をマウスで移動するとオブジェクトを回転することができます。

グループ化されたオブジェクトや直線、円弧オブジェクトを選択したときには、この緑色の点は表示されません。



文字の円形配置

文字オブジェクトを選択するとオブジェクトの中心に赤い点が表示されます。この赤い点をマウスで移動させると、オブジェクトを円形に配置することができます。

ただし、次のいずれかの指定がされているときこの赤い点は表示されません。

- ・文字変形が指定されているとき
- ・オブジェクトがグループ化されているとき

プロパティ

ラベル上に配置されたオブジェクトをダブルクリックするか、オブジェクト上でマウスの右ボタンをクリックすると開かれるポップアップメニューから<プロパティ (0)>を選択すると、そのオブジェクトの設定を変更できるダイアログメニューが開きます。

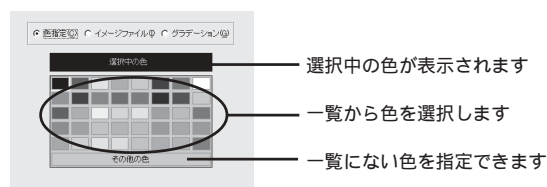
4.2 オブジェクト

4.2.1 文字・図形オブジェクトの色変更

<色指定(C)>をクリックすると、文字や図形オブジェクトの色を指定できます。

<イメージファイル(I)>や<グラデーション(G)>を塗り色に指定することもできます。

詳細はヘルプを参照してください。



4.2.2 オリジナル画像の追加

ツールバー上の  ボタンで、お手持ちの画像ファイルを指定することができます。

<イラスト集> タブ

「ラベルプロデューサー」に収録されているイラストを指定することができます。



<ファイル> タブ

お手持ちの画像ファイルを指定することができます。

指定できる画像ファイルはBMP形式、GIF形式、JPEG形式、PhotoCD形式です。

<クリップボード> タブ

クリップボードの内容が取り込まれます。

<TWAIN> タブ

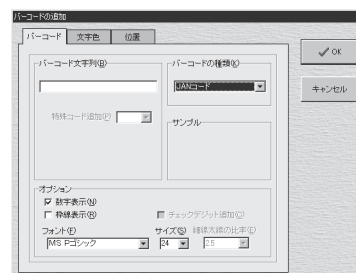
接続されているデジタルカメラなどのTWAIN機器からイメージを取込み、オブジェクトとしてラベルに追加します。

<取り込み>ボタンをクリックすると取り込みを開始します。

4.2.3 バーコードオブジェクト

<画像(I)>-<バーコード(J)>でバーコードオブジェクトを追加します。広く普及しているバーコードでJANコード、CODE39、CODE128の3種類があります。

コードの最後の1桁は、チェックキャラクタと呼ばれ、コードが正しいものであるかどうかの確認のための数字になっています。「ラベルプロデューサー」では、このチェックキャラクタを自動算出しますので数字でコードを入力するとチェックキャラクタを付加した正しいバーコードを表示します。

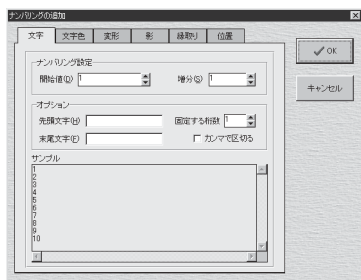


注意

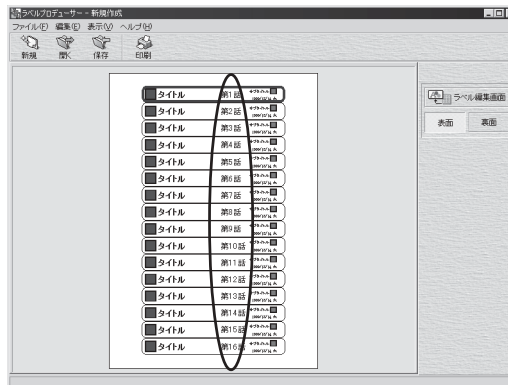
印刷したバーコードを正確に読み取れるかどうかは、プリンタの精度やラベルシートの紙質などによります。事前に十分なテストをした上でご使用ください。

4.2.4 ナンバリング

1 **2** をクリックすると各ラベルに通し番号(ナンバリングオブジェクト)を追加することができます。「新規作成」や「ウィザード」の「用紙の選択」で<デザイン方法(D)>を<全ラベル同じ>にしている場合に便利な機能です。



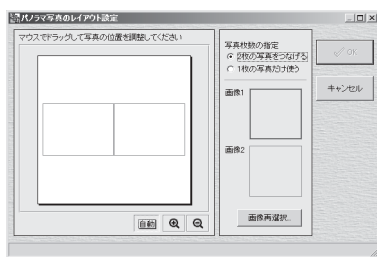
先頭文字(H)や末尾文字(F)を指定すれば「第1話」などのような指定ができます。



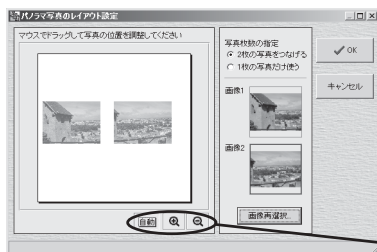
このように各ラベルに通し番号が付きま
す。

4.2.5 パノラマ写真

2枚の写真を合成または、1枚の写真から切り出して1枚パノラマ写真オブジェクトを配置します。メニュー<画像>-<パノラマ写真>を選択すると、「パノラマ写真のレイアウト設定」ダイアログが表示されます。



2枚の写真を合成してレイアウトしたい場合は、「2枚の写真をつなげる」にチェックを入れます。1枚の写真からパノラマ写真を切り出したい場合は、「1枚の写真だけを使う」にチェックを入れます。画像1または画像2をクリックし、画像再選択ボタンをクリックするか、画像1または画像2をダブルクリックすると、イメージの選択画面が表示されますので、任意の画像を選びます。

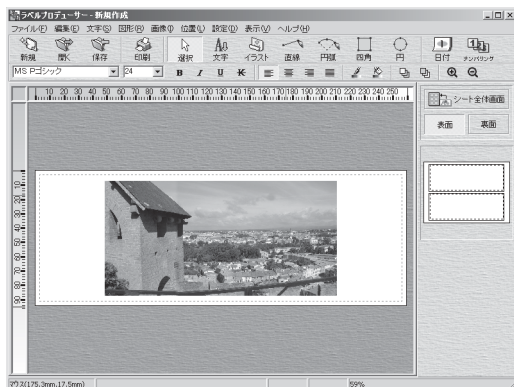


ドラッグ&ドロップで任意の画像の位置を調整します。ダイアログの大きさを最大化すれば、写真の位置を細かく動かすことができます。

レイアウト画面の表示倍率を拡大縮小します。表示倍率を拡大すれば、写真位置を微調整しやすくなります。



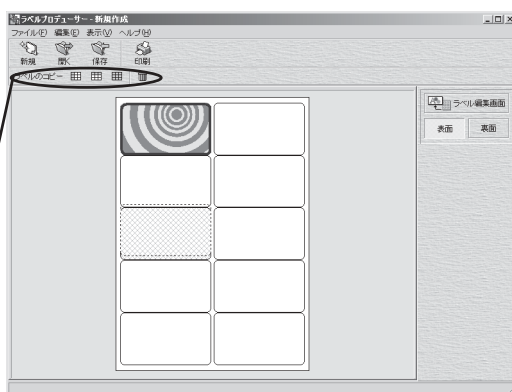
「写真再選択」ボタンをクリックすると画像を選びなおすことができます。
切り抜き・位置を調整します。



オブジェクトが配置されます。

4.3 シート全体画面での操作

シート全体画面は、ラベルシート全体を一覧することができ、ラベル単位での複写や削除ができる画面です。表示されているラベルシートから、編集したいラベルをダブルクリックするとラベル編集画面に切り替わります。



表示されているラベルを他のラベル面にマウスで移動(ドラッグ&ドロップ)するだけで、ラベル面を複写することができます。また、このときにSHIFTキーを押しながら操作するとラベル面を移動することができます。ラベル面のデザインをすべて消去したいときは、そのラベルを選択して<編集(E)>メニューから<クリア(D)>を選択します。

ラベル単位でコピーを行います。コピー元のラベルを選択し、コピー方法(縦・横方向、全体)を選びます。選択中のラベルのデザインデータを削除したい場合は、ゴミ箱アイコンをクリックします。

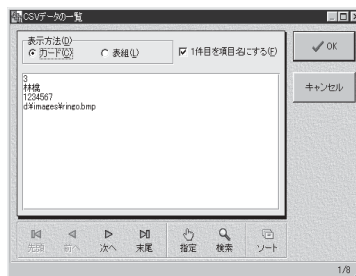
このコピーボタンは、用紙の選択時に、デザインの方法(D)-ラベル別に作成を選んだ時にご利用いただけます。

また、コピーが可能なのは、同じ用途のラベルのみです。

4.4 差込み印刷

CSV形式のファイルからデータを読み込んで、差込みオブジェクトを配置することができます。差込みオブジェクトは、ひとつのラベルに配置したオブジェクトの内容が、シート上の各ラベルごとにCSVファイルのデータに置き換わる機能ですので、「新規作成」や「ウィザード」の「用紙の選択」で「デザイン方法(D)」を「全ラベル同じ」にしている場合に便利です。ひとつのラベルシートにつきひとつだけCSVファイルを指定できます。

CSVファイルを指定するにはメニューバーから「ファイル(F)」>「差込みCSVデータ(C)」>「CSVファイルの選択(F)」を選択します。
「ファイル(F)」>「差込みCSVデータ(C)」>「CSVデータの一覧(V)」でCSVデータを確認、検索することができます。



差込みできるオブジェクトは以下の3つです。

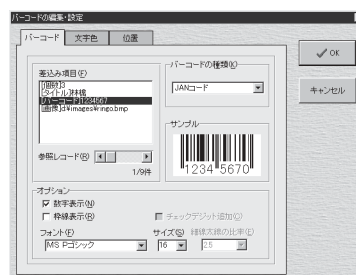
1. 差込み文字

メニューバーから「文字(S)」>「差込み文字(E)」>「データ」で、データを文字オブジェクトとして各ラベル面に配置します。



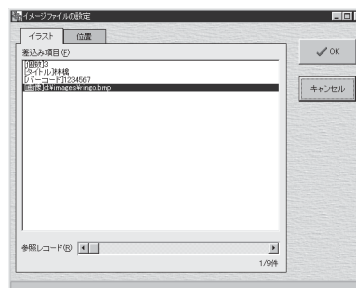
2. 差込みバーコード

メニューバーから「画像(I)」>「差込みバーコード(S)」>「データ」で、データをバーコードに変換して各ラベル面に配置します。



3. 差込みイラスト

メニューバーから「画像(I)」>「差込みイラスト(N)」>「データ」で配置します。有効な画像ファイルへのパス(c:\image\sample.jpgなど)を指定しているデータであった場合に、各ラベルに画像を配置します。

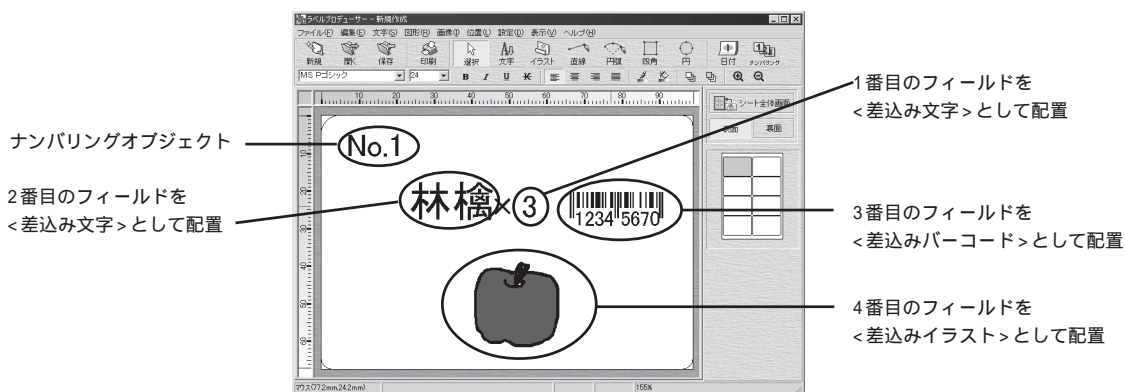


差し込み機能を利用した例

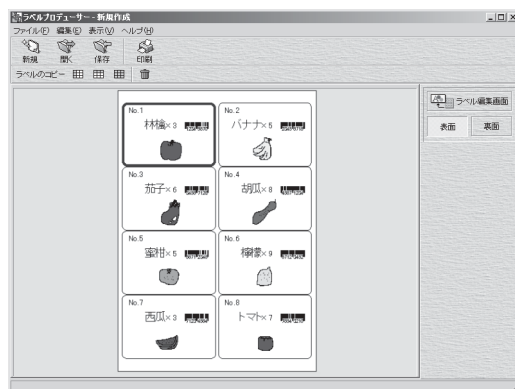
以下のような CSV ファイルを使用した例です。

個数, タイトル, バーコード, 画像
 3, 林檎, 1234567, d:¥images¥ringo.bmp
 5, パナナ, 2345671, d:¥images¥banana.bmp
 6, 茄子, 3456712, d:¥images¥nasu.bmp
 8, 胡瓜, 4567123, d:¥images¥kyuuri.bmp
 5, 蜜柑, 5671234, d:¥images¥mikan.bmp
 9, 檸檬, 6712345, d:¥images¥lemon.bmp
 3, 西瓜, 7123456, d:¥images¥suika.bmp
 7, トマト, 7654321, d:¥images¥tomato.bmp

d:¥images(ドライブDの images というフォルダ)に有効な画像が入っているものとします。



ラベル編集画面で確認すると下ののように配置されています。



特殊形状のラベル・カードについて

下記の用紙は特殊形状のラベル・カードです。ご利用の際には以下の点にご留意ください。

1. パーソナルクリエイションジャンル内ハローキティラベル5品番

- ・ハローキティ名刺サイズカード(C98201K)
- ・ハローキティ VHS ラベル(C99501K)
- ・ハローキティ表示ラベル(スマートメディア対応)(C99505K)
- ・ハローキティ表示ラベル(3.5FD/MD ケース対応)(C99309K)
- ・ハローキティ名前・表示ラベル(C99303K)

画面に表示されるラベル・カード面上のグレー部分は、実際のラベル・カードではキティ絵柄が印刷されています。ラベル面全体に背景柄を置いたり、グレー部分に文字やイラストを置くと、キティ絵柄の上に印刷してしまいますので、画面上のラベル・カード面の白い部分のみにデザインを置くようにしてください。

2. AV ラベルジャンル内 MD ラベル

- ・MD(C99502)

サイズ5: 26 × 39.5mmMD ラベル(半円)(角型)の実際の形状は半円ですが、角型ラベルとして登録されています。画面に表示されるラベル面上のグレー部分は実際のラベルとしては利用できない部分ですので、画面上のラベル面の白い部分のみにデザインを置くようにしてください。

3. OA ラベルジャンル内 LS-120 スーパーディスクラベル

- ・LS-120 スーパーディスクラベル(L7669)

実際のラベル形状は台形ですが、画面上には角丸型ラベルとして表示されています。画面に表示されるラベル面上のグレー部分は実際のラベルとしては利用できない部分ですので、画面上のラベル面の白い部分のみにデザインを置くようにしてください。

これらのラベル・カード上に表示されているグレー部分を「用紙柄」といいます。ラベルシートを印刷するとき、「用紙柄」を印刷するかどうか選択することができます(「3.5ラベルシートの印刷」を参照してください)。

用紙柄は用紙の表面に表示されます(裏面には表示されません)。

4. 両面印刷ジャンル内両面 DVD/CD トールケースインデックスカード

- ・両面 DVD/CD トールケースインデックスカード(J2360D)

用紙方向縦長のとき、上の面が「裏面」、下の面が「表面」となっています。識別しやすいように、あらかじめ、「裏面」、「表面」とグレーで記入されていますが、実際には印刷されません。

5. 両面印刷ジャンル内すっきりエッジ名刺カード

・すっきりエッジ名刺カード(J21033SCE/J21131SCE/EJ21033SCE/EJ21131SCE/EJ21151SCE/EM21033SCE)

裏面の画面に表示されるカード面上の濃いグレー部分は、実際のカードではセパレーター部分です。薄いグレー部分は、文字やイラストを置くと正しく印刷できない可能性のある領域です。画面上のカード面の白い部分のみにデザインを置くようにしてください。

6. CDラベル・カードジャンル内DVD/CDインデックスカード

・DVD/CDインデックスカード(MaxCDIND1/MaxCDIND2)

これらのカードは、全面フチなし印刷に対応していません。画面に表示されるカード面上の白い部分は、推奨印刷範囲です。グレー部分に、文字やイラストを置いたり、カード面全体に背景柄を置くと、印刷が切れてしまう可能性の高くなりますので、白い部分のみにデザインを置くことをお勧めします。なお、印刷可能領域は、プリンタによって若干異なります。

7. 名刺ジャンル、両面印刷ジャンル内1面名刺

・1面名刺(ME1/ME1D)

1面名刺(55 x 91mm)を印刷するには、このサイズに対応しているプリンタが必要です。

詳しくは、ご利用のプリンタのマニュアルをご覧ください。

フチなし印刷に設定するとより美しく印刷できます。

なお、EPSON社製PX-G900/PM-G800などでは、プリンタのプロパティで、

「用紙サイズ:名刺55 x 91mm、用紙種類:EPSON両面マット紙<再生紙>、フチなし」に設定にすることをお勧めします。

また、両面印刷ウィザードで1面名刺をデザインする場合は、まず表面をデザインした後、ウィザード完了ページで裏面タブを押してから、「戻る」ボタンでデザインの選択画面まで戻り、裏面をデザインしてください。

8. 名前ラベルジャンル内お名前ラベル

・算数セット用92面(NA92H)

この用紙は、3つのブロックに分かれています。

用紙方向縦長のとき、上のブロックのラベル面上のグレーの枠部分は、実際のラベルの切り取り線です。文字やイラストは、グレーに囲まれた内側に置くようにしてください。

また、ウィザード上からデザインを行う場合、お奨めの方法をご説明します。

<1>ラベルの形状に応じて3つのブロックに分かれていますので、ウィザード上で各ブロックの1つにデザインをします。

<2>3つのブロックにつき各1つずつ、計3つのラベルのデザインが完了しましたら、ウィザード完了ページで完了ボタンを押し、編集画面に移動します。

<3>シート全体ボタンを押し、シート全体画面を表示します。

<4>デザイン済みのラベルを選択した状態で、ラベルのコピーボタンを押すと、同じブロックのラベルにデザインをコピーできます。

違うブロックのラベルにはコピーできません

コピーの方法を駆使すれば、1列ごとに違うデザインなどの作成が可能です

<5>各ブロックのラベルのデザインをコピーすれば、92面全てのデザインが完了します。

注意・制限事項

文字の表示と印刷

「ラベルプロデューサー」に使用されている文字が指定されているフォントやフォントサイズによって、画面表示と印刷時で位置や大きさに若干のずれが生じることがあります。このような時は、他のフォントに変更したり別のサイズに設定しなおしてください。

Windows のフォントサイズ

「ラベルプロデューサー」は、Windowsの画面のプロパティで<小さいフォント>のサイズで画面デザインされていますので、<大きいフォント>などの設定でお使いになった場合、メッセージなどの表示がずれて表示されることがあります。

デジタルカメラなどの TWAIN 機器について

デジタルカメラやスキャナーなどの TWAIN 対応機器をご使用になる場合は、「ラベルプロデューサー」を使用して写真を取り込まれる前に、機器に付属している TWAIN ドライバやユーティリティソフトで画像が正しく取り込まれることを確認してからご使用ください。

TWAIN機器をお使いになるためには、機器に付属しているTWAINドライバのインストールが必要になります。また、デジタルカメラなどでは、パソコンとの接続キットが別売の場合もありますので、接続方法や接続に必要なキットなどはTWAIN機器に付属のマニュアルでご確認ください。

ご注意

「ラベルプロデューサー」は、32ビット版のTWAINドライバに対応していますので、16ビット版のTWAINドライバや規格に正しく準拠していないTWAINドライバの場合、ドライバ画面が正しく表示されなかったり、画像を正しく取り込めない場合があります。

印刷について

「ラベルプロデューサー」でラベルシートを印刷する際、お使いのプリンタによっては、印刷に時間がかかることがあります。また、高画質の写真イメージやA3サイズなどの大きい用紙を登録してご使用の場合に、プリンタドライバによっては極端に大きい一時ファイルを作成することがありますのでご注意ください。

収録素材について

収録されている写真・イラスト・背景柄などの素材は著作権フリーではありません。営利目的のご利用はできませんので、ご注意ください。

本製品ご使用条件

エイブリディンソンマクセル株式会社(以下「弊社」とします)は、本製品の使用に関し下記の条件を設定しています。

[1]使用許諾の制限事項

1. 本製品を賃貸業(レンタルやリース)に使用することはできません。
2. 本製品の全部または一部を無断で複製・転載したり、第三者に販売・譲渡することはできません。

[2]著作権の所有

本製品の著作権は株式会社メディアナビゲーションが所有しています。

[3]保証等の制限

弊社はいかなる場合も本製品の使用に起因するどのような事態に対しても一切責任を負いません。

(ご使用上の注意)

長時間使用するとき、健康のため1時間ごとに10～15分の休憩をとってください。

疲れているときや睡眠不足での使用は避けてください。

使用中は部屋を明るくして、モニター画面に近づきすぎないようにしてください

このディスクは「CD-ROM」です。一般のオーディオ機器やオーディオCDプレーヤーでは絶対に使用しないでください。大音量によって耳に障害を被ったり、スピーカーを破損するおそれがあります。

ごくまれに、強い光や点滅するモニター画面を見ていて、一時的に筋肉のけいれんや意識喪失等の症状を経験する人がいます。このような経験のある人は、使用する前に必ず意思に相談してください。また使用中にこのような症状が起きたときは、すぐに使用をやめ、医師の診療を受けてください。

(取り扱い上の注意)

信号読み取り面(レーベル面の反対側の光った面)を汚さないように注意してください。汚れた場合は柔らかい布で、中心部から外周側に向かって放射線状に軽く拭き取ってください。

CD-ROMディスクを汚したり、キズをつけないようにしてください。ケースからの出し入れの際は、こすり傷をつけないよう特に注意してください。レーベル面に鉛筆やボールペンなどで、字を書いたり、シールを貼らないでください。読み取り面にキズを付ける恐れがあります。CD-ROMディスクを曲げたり、センター孔を大きくしないでください。

高温、多湿の場所には保管しないでください。記載事項およびソフトウェアの機能は予告なく変更することがあります。

ラベルプロデューサー ユーザーズマニュアル

平成 17 年 6 月 10 日 初版発行

発行

株式会社メディア・ナビゲーション

〒150-0002 東京都渋谷区渋谷3-13-11

渋谷 TK ビル 7F

Windows, Windows98, WindowsMe, Windows2000, WindowsXP は米国マイクロソフト社の商標です。その他、本文中に記載されている会社名・製品名は各社の商標または登録商標です。

1999-2005 Media Navigation, Inc. All rights reserved.
Photo CD Portion Copyright Eastman Kodak Company 1995